

# 令和6年度 第2回 秋田市在宅医療・介護連携セミナー アンケート結果

開催日時：令和7年1月31日（金） 18:30～20:00

会場：オンライン（zoom）

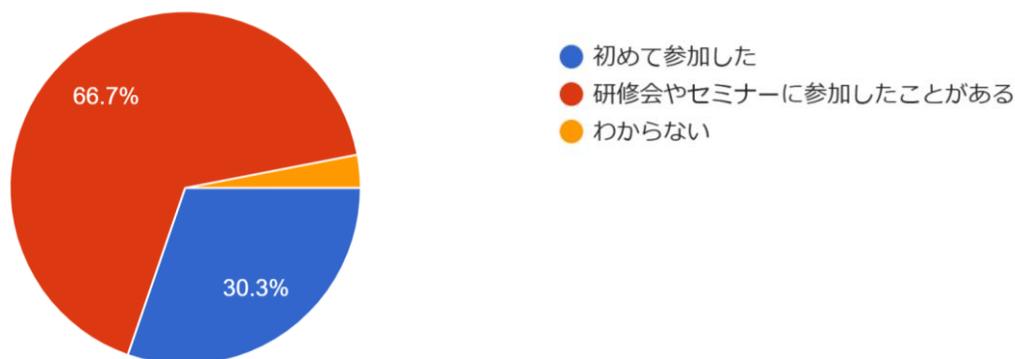
参加者数：47人

（医師2名、歯科医師2名、薬剤師11名、看護師0名、MSW4名、介護支援専門員7名、施設相談員1名、施設長・管理者4名、包括職員12名、福祉用具専門員2名、救急隊員2名）

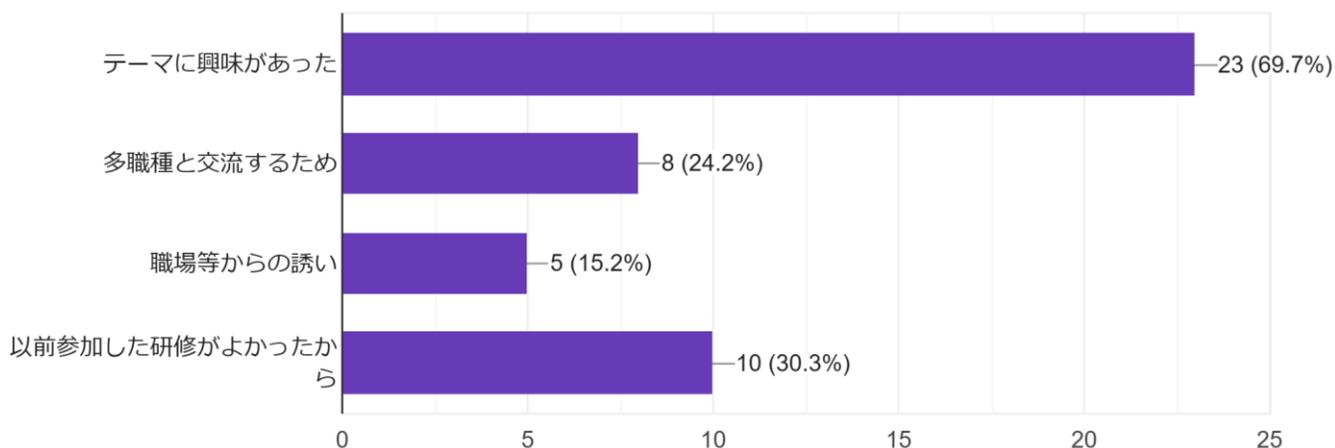
回収率：70.2%（33人）

## I 本日の研修会について

問1 本センターが開催するセミナー等への参加について

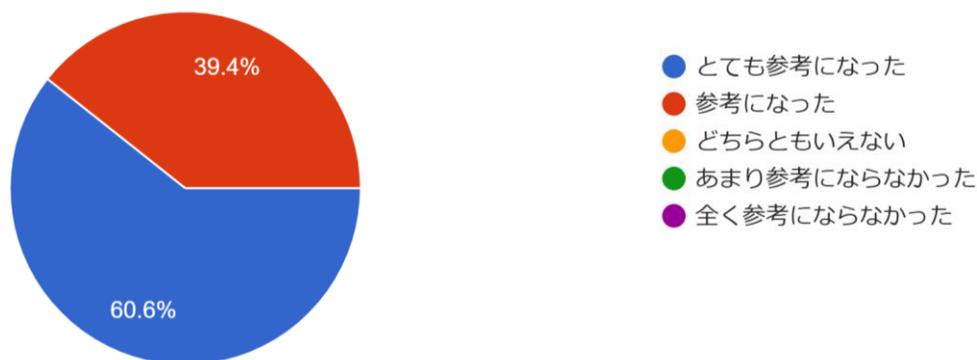


問2 本日の研修会に参加した理由



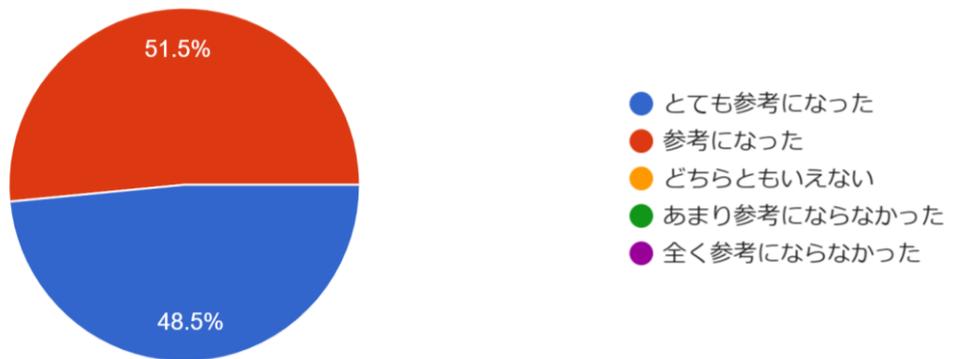
### 問3. 感想

(1) 講演「2025年を迎えた医療・介護の現状と2040年に向けて多職種に求められること」)



- 普段あまり聴くことのできない内容だったため
- 現在の秋田県の様子を見ることができた
- 秋田県の現状、今後求められていえることがよくわかった。
- 今後在宅医療がふえていく、その際に他職種連携は必須であること、今後地域で医療人、専門職として活動していく上で必要な知識を得ることができました
- これから85歳以上の高齢者が増え、生産年齢人口の減少がグラフで見ると切実になりました。また2040年にむけての連携についてもいろいろな方向から話して頂きとても参考になりました。ありがとうございました。
- 具体的で今後の秋田のイメージができた。
- 2040年問題について詳しく知ることができた
- 繋がり的重要性を改めて大切と思いました。
- 図やグラフから、統計的にどの程度高齢化が進んでいるのかがよく分かった。
- 多職種と連携して高齢者が安心して過ごせる世の中にしたいと思えたので。
- 医者からの視点での説明が分かりやすかった。
- 現状や将来予測を具体的に聞くことができ、参考になりました。
- 小野先生のお話がとても丁寧で聞きやすかったです。

## (2) 情報提供「秋田市の現状と取組」



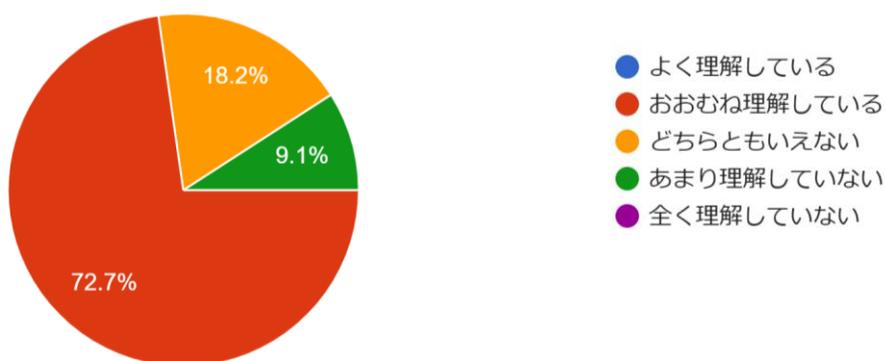
- ・身近な地域の現状が興味深かった
- ・新しいリーフレットができたことを知らなかったので、今後確認していきたいと思った。
- ・現在の秋田市の現状が知れて参考になった。
- ・秋田市の状況を知ることができた
- ・取り組むべきことに初心に戻れました
- ・連携の必要性を利用者の立場で考えることができたため
- ・秋田市の取組を知れて、困っている患者さんがいた時の参考にできそうだったから。
- ・今後活用できるツール等まじえての説明で分かりやすかった。
- ・ACPのリーフレットが新しくなっていたことを始めて知り、早速活用したいと思う。
- ・在宅医療・介護連携推進事業の具体的な取り組みの情報が参考になった。業務に活用させていただきます。

問4. 今後取り組んで欲しいテーマや内容、進め方などがあれば記入してください。

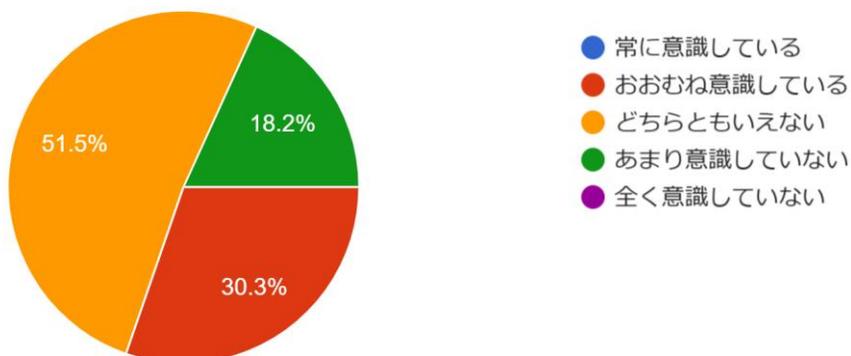
- 医療側、福祉側それぞれがそれぞれに期待していることの情報交換
- カメラオフでも良いのが参加しやすかったです
- コロナ禍以降、オンラインが主になりましたが、顔がみえる関係づくりも必要かなと感じました。
- 在宅医療での失敗談や苦勞、それをどう乗り越えたかを色々な方から聞いてみたいです。
- ウェブでなく対面の方が情報共有できると思います
- 看取りのセミナーは特に興味深いです。
- 地域のかかりつけ医との連携について

## II ACPについて

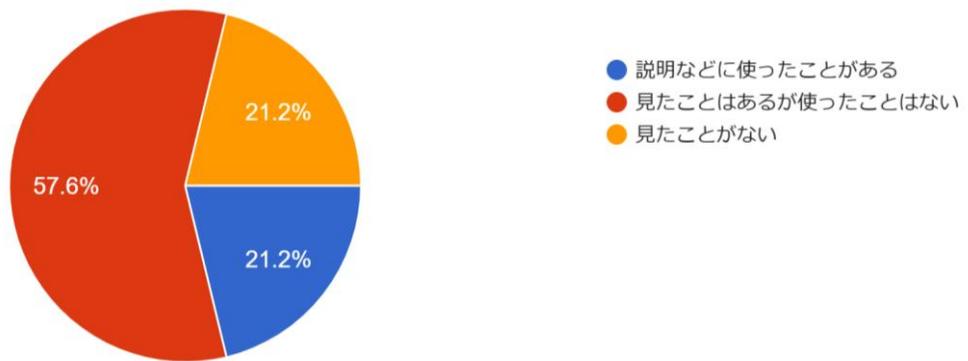
問5. ACPについて理解していますか



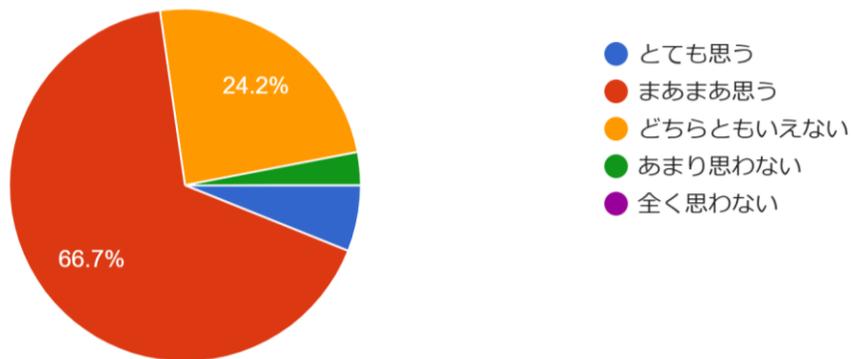
問6. 業務の中でACPを意識しながら患者（利用者）さんや関係者と接していますか



## 問7. 人生会議（ACP）リーフレットについて



## 問8. 身近では多職種連携が図られていると思いますか



## 問9. ご意見、ご感想を自由にお書きください

- 以前より顔がみえづらく感じる
- 高齢者もいろいろな方がいる。怒りっぽい方、人の話を聞かない方、体が思うように動けない方など、介護する方も負担が大きく大変だと思います。生成AIの活用はこれから必要だと思います。
- 研修会の運営ありがとうございました。
- 自分のACPの理解を深めたいです。
- 貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
- 実際の業務の中でも高齢化・独居・複合課題等が存在し、医療・介護の連携だけではなく、多方面からの連携の必要性を実感しています。本日はありがとうございました。
- 医療の視点から多職種連携についてお話しいただく機会はありませんでした。大変勉強になりました。医療機関と連携し、在宅で生活する高齢者の生活を支援していきたい。